

# 次期学長「生き抜く力を」

## 八戸

### 今春就任・水野氏 八学大で公開授業

八戸学院大学(八戸市)の新学期に今年4月就任する水野眞佐夫・北海道大学大学院教授の公開授業「スポーツと筋生理学」が1月31日、八戸学院大で開かれた。同大の学生や教員ら約60人が受講し、アスリートの体と食事やトレーニングの結びつきなどについて学んだ。

授業は同大人間健康学科のスポーツ科学概論の一環として開いた。健康・スポーツ科学、身体教育学が専門の水野教授は、2015年度から非常勤講師としてスポーツ科学系の集中講義

を同大で開いている。授業は3部構成で、生き抜くための全身力の必要性を理解するとともに、運動が体に及ぼす正負の効果、トレーニング効果を最大化する手法の学習が目的。



水野教授は「災害などで生き残るには生きるといいう強い精神力とそれに呼応する全身力が必要」と強調。その上で「いざという際に力を出せる体にするにはたんぱく質の速やかな摂取と日々の食事のバランスが大切。組織の代謝に大事な食

学生たちに議論を促しながら授業する水野教授(中央)

事はバランスは、日本ならではの『定食』を常に意識して」などと呼び掛けた。

水野教授は昨秋の理事会で同大新学長への就任が決定した。1日に同大で記者会見を開き、就任を正式に発表する。

(若松清巳)